

第4回日本プラグフェスト開催報告

－ 技術本部ハードウェア委員会 －

第4回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。

日本プラグフェストは、インターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。

今回は特別講演として、HDMIファウンダーの1社であるパナソニック株式会社のAVCネットワークス社 技術本部AVC CTO 室参事の白木直司様より、最新規格であるHDMI2.0の概要説明と、パナソニック社が把握しているHDMIの接続性の問題について、参加の各メーカーに情報提供いただきました。

また今回参加いただきました各社には、参加証を発行させていただきました。

会期・場所

会期 平成25年11月28日(木)～29日(金)

場所 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
東京イノベーションハブ

主催 一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

目的・特徴

同一インターフェース規格(HDMI)を持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向上を目的としています。

参加メーカーは、ソース機器¹、シンク機器²、リピータ機器³に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。

また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。

参加メーカー・機種

・参加メーカー 20社 46名

・参加機種

シンク機器 10機種(TV、プロジェクタ等)

ソース機器 12機種

(BDレコーダ、ゲーム機、デジタルカメラ等)

リピータ機器 6機種(AVアンプ、AVレシーバ等)

測定器 3機種

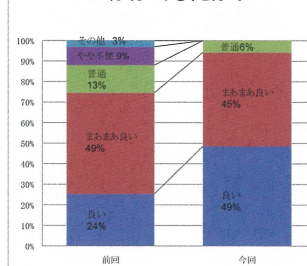
(オシロスコープ、ネットワークアナライザ等)

試験方法

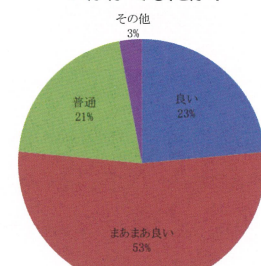
▼ 個別試験

・各チームと1対1の試験

会場の設備環境についてはいかがでしたか？



システム試験のテスト項目はいかがでしたか？



・1スロット45分

▼ システム試験

・シンク、ソース、リピータを複数介した試験

・1スロット90分

参加者からのご意見・ご要望

- ・他社との接続確認、情報共有できる大変良い機会なので、参加企業を増やしつつ継続した開催をお願いしたい。
- ・本年モデルの評価として、良いタイミングだった。
- ・今回初めて発行していただいた参加証は、あった方が良い。

以上のような声をはじめ、多数のご意見をいただきました。お寄せいただいた、試験方法、場所、試験時間等に関するご要望につきましては、今後可能な限り対応します。

次の予定

今回は今年の4月～5月頃の開催を予定しています。具体的な日程等が決まり次第、日本プラグフェストHP(<http://www.jasa.or.jp/plugfest/>)にてお知らせいたします。

1. デジタルコンテンツを出力する機器(BDレコーダ、デジタルカメラ等)
2. デジタルコンテンツを受信し表示する機器(TV、プロジェクタ等)
3. ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機(AVアンプ等)

